



社説

[高浜再稼働へ] 安心が遠のく高裁決定

(3/30 付)

関西電力高浜原発3、4号機（福井県高浜町）を巡り大阪高裁は、運転を差し止めた昨年3月の大津地裁の仮処分を取り消し、関電の抗告を認める決定をした。

これにより全国で初めて稼働中の原発を止めた司法判断は1年で覆った。

関電は再稼働の手続きを進め、早ければ4月下旬ごろにも運転を再開する見通しだ。

原発の安全性を考える原点は東京電力福島第1原発事故にある。多数の住民が避難生活を強いられ、いまだに溶け落ちた核燃料（デブリ）の所在さえ分からない。

今回の高裁決定は関電の主張をほぼ追認し、政府が進める再稼働方針を後押しする結果となった。福島を教訓に見直したはずの安心と安全が遠のいている。

争点の一つは、福島の事故後に策定された原子力規制委員会の新規制基準の妥当性だった。

大津地裁は「関電の主張や説明の程度では公共の安心、安全の基礎と考えるのはためらわざるを得ない」と疑問を示した。過酷事故対策の問題点も次々に挙げた。

これに対して大阪高裁は「福島事故の教訓を踏まえ、最新の科学的、技術的知見に基づいて策定され不合理とはいえない」と指摘した。正反対の判断である。

避難計画についても同様だ。高浜原発の30キロ圏は京都府や滋賀県の一部を含み、県境を越えた広域避難のあり方が大きな課題となっている。

地裁決定はこれを踏まえ、自治体任せでなく国主導で計画策定を急ぐ必要性に言及した。

一方、高裁決定は「さまざまな点で改善の余地があるが、取り組みの姿勢は適切で不合理な点は認められない」とした。

再稼働ありきの政府の姿勢に、安全を軽視しているのではないかと警鐘を鳴らした地裁決定とはあまりにも対照的だ。

原発差し止めが争われた裁判で住民側主張を認めた高裁判断はない。今回も「厚い壁」を越えられなかったといえる。

「原発などの高度な専門的判断は行政の裁量を相当程度認めざるを得ないとの伝統的な考え方がある」。山本和彦一橋大大学院教授（民事手続法）は司法の限界をこう指摘する。

政府や電力会社は再稼働の道を開いた今回の高裁決定を歓迎している。だが、原発の安全性に「お墨付き」を得られたと受け止めるなら早計だ。

何より、万全の事故対策と国民への説明に重い責任を負っていることを忘れてはならない。安全神話との決別が求められている。

- ・ [核兵器禁止条約] 不参加は再考すべきだ (4/11 付)
- ・ [生涯未婚率最高] 雇用の質改善急ぎたい (4/11 付)
- ・ [窃盗男性無罪] 県警の違法捜査に警鐘 (4/9 付)

7日間無料試読 よむのび教室 **第1**!

見守り活動 投稿案内 **420** イベント



PR特集



南日本新聞データベース

掲載記事100万件超。記事の切り抜きイメージをPDFで表示、気になる記事をクリック。申し込み受け付け中!



おはようネット

かごしまの今がすぐわかる南日本新聞（デジタル版）を毎朝一番にネットで読める! 鹿児島県外在住の方限定!

Dell Inspiron 14 7000...	Dell Inspiron 13 5000...	Dell New XPS 13 2-in-1...
¥ 124,178	¥ 107,978	¥ 183,578
今すぐ購入!	今すぐ購入!	今すぐ購入!



友だち追加

HOT! 注目! いちおし!

春の九州高校野球大会

オセモコ 特派員募集

鹿児島ユナイテッドFC 応援サイト

お探しの先生を 姓、名、前任校で検索! 鹿児島県教員異動 南日本新聞モバイルサイト

ニュースランキング

日間 週間 月間

1. パリ万博150年 フランスへの思い込め..
2. 朝食提供の「子ども食堂」開店 鹿児島市
3. 九州高校野球県予選 決勝は鴨池市民で神..
4. 茶をスープに使ったラーメン提供
5. 鹿児島大が防災シンポ 熊本地震の教訓紹介
6. 初の家族留学は3組4人 宇宙留学22期..
7. 種子鉄の製作技術継承、梅木さんに修了証..
8. 西出水爆笑戦隊、「HAPPY NEWS..
9. 霧島の地域情報誌「モンスター」200号..
10. 義務教育学校へ移行 坊津学園が開校式 ..